

## ■ 観天望記（編集委員会から）

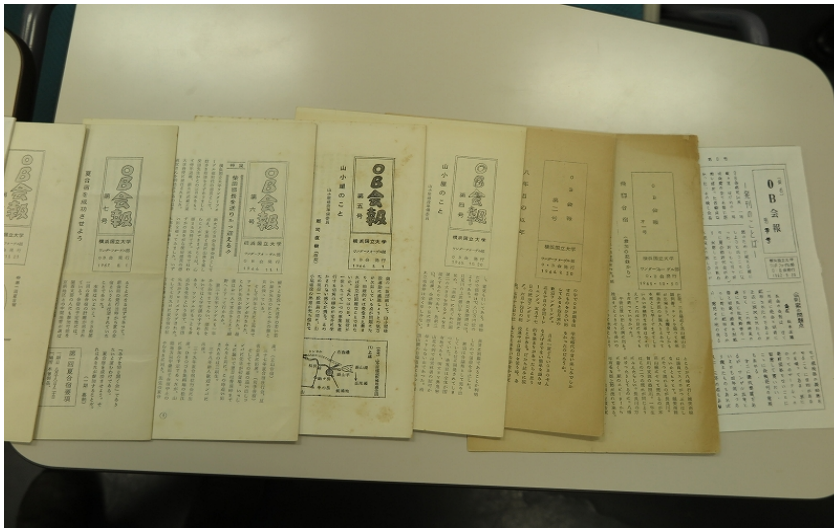
編集委員長 石垣（20期）

OB総会と同日に開催されるホームカミングデーのワングル企画展に、毎年展示しています会報（下の写真）について少し述べたいと思います。本OB会報は64号です。0号から始まっていますので、65番目となります。OB会設立の翌年1962年に創刊されましたが、総会での正式な承認がなされていなかったため、「ゼロ号」としたそうです。半世紀以上も前の話です。その後、諸先輩のご努力により発行を積み重ね今日に至っていますが、決して順風満帆ではありませんでした。10号（1968年12月発行）と11号（1973年7月頃発行）の間には5年の空白があります。世の中では1970年頃の安保闘争、現役では山派と里派の分裂、OB会も活動が低迷していた時期だそうです。このような状態では会報発行どころではなかったでしょうね。

11号から再度毎年発行されるようになりましたが、15号（1977年6月発行）以降でまた会報の危機が出現します。15号は会報唯一の手書きによる発行で、OB会則の大幅な変更や部創立20周年記念パーティーの報告等が掲載されていますが、一方で前年の2件の事故の苦しみがいじみ出ています。小生が入部したのが1976年、まさに現役やOBの諸先輩が事故対応でご苦労されていた時期です。1年生ながら部存続の危機をひしひしと感じたことを覚えています。残念ながら15号発行の後、16号が発行されるまでに約22年という長い年月が経っています。その間、勿論OB会活動は行なわれていますが、全体としては低迷期のようなのです。

その後、1999年に一桁の期の方々や30期代の（当時）若い方々のご尽力により、OB会の活動が再出発となり、会報も再度発行されるようになりました。それからは途切れることなく毎年発行され、現在も年3回発行しています。先輩諸氏のお話によりますと、OB会の活動とOB会報の発行は相関関係があり、活動の活発な時期は会報もしっかり発行されており、OB会報はOB会活動のパロメーターだ、とのこと。OB会報の歴史は会報50号に詳しく述べられていますし、OB会ホームページには全会報をPDFで掲載していますので、お時間がある時に会報の歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか。

これからもOB会活動の情報を会報を通して発信し続け、更に会報を発展させていきたいと思っておりますので、OB会員の皆様におかれましては、OB会報の末永くのご愛顧を宜しくお願いします。皆様の多大なお力をいただき、今年も1年無事に会報の発行ができましたことを感謝すると共に、来年も良き年でありますことをお祈りいたします。



OB会報のオリジナル。年1回ホームカミングデーのワングル企画展でご開陳。  
発行から50年以上経ってもオリジナルが全て現存するのは「神ってる！」